

魚沼への交通アクセス

車での所要時間

東京→小出I.C (関越自動車道利用) …… 約3時間
新潟→小出I.C (関越自動車道利用) …… 約1時間

JRでの所要時間

東京→浦佐駅 (上越新幹線利用) …… 約1時間30分
新大阪→浦佐駅 (東海道・上越新幹線利用) …… 約4時間50分
新潟→浦佐駅 (上越新幹線利用) …… 約40分

空路での所要時間

札幌→新潟 …… 約1時間10分
名古屋→新潟 …… 約50分
伊丹→新潟 …… 約1時間5分
福岡→新潟 …… 約1時間30分

○魚沼から行く尾瀬の船・バス予約など

一般社団法人 魚沼市観光協会

〒946-0075 新潟県魚沼市吉田1144
TEL : 025-792-7300
FAX : 025-792-7200
<http://www.iine-uonuma.jp>

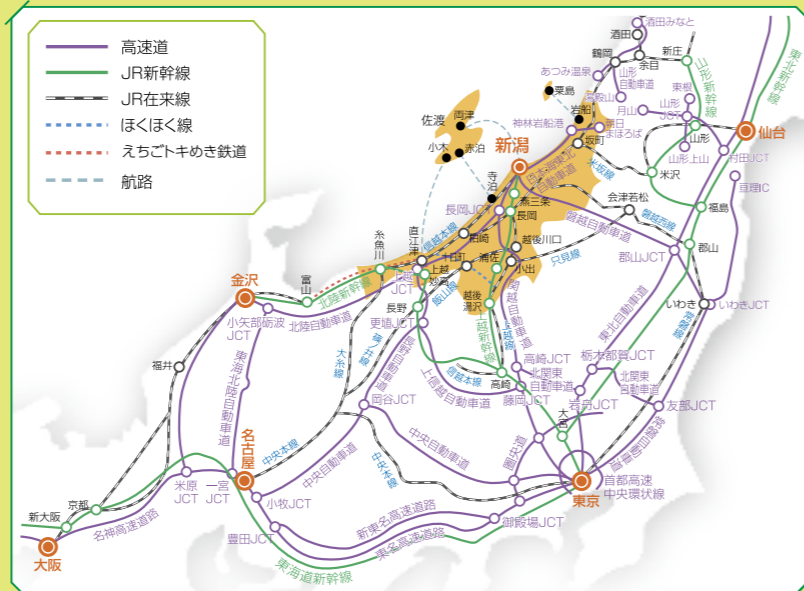
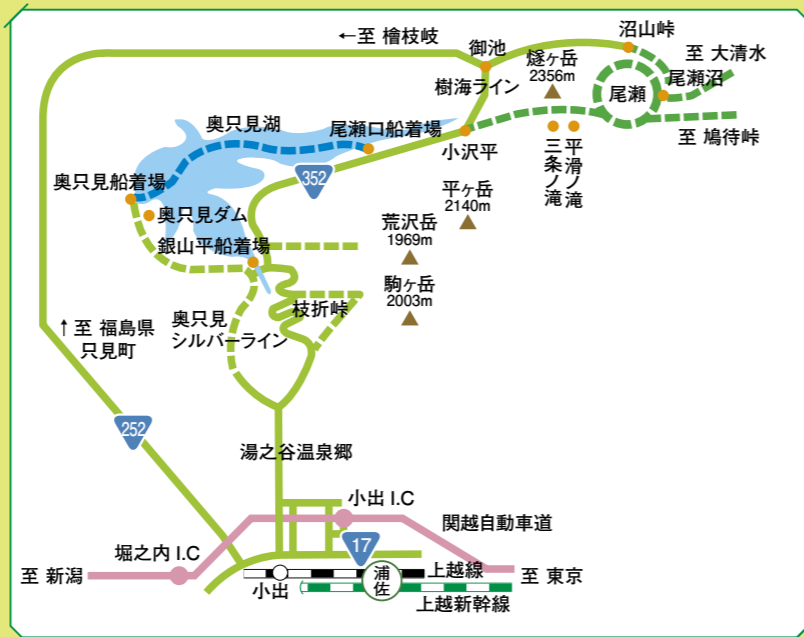


○尾瀬の総合情報

公益財団法人

尾瀬保護財団ホームページ

<https://www.oze-fnd.or.jp>



新潟県 魚沼から行く尾瀬



入山準備

- 1 尾瀬国立公園は自然公園法等によって、貴重な自然景観や生態系が守られています。入山にあたっては、豊かな自然を後世に引き継ぐため、利用マナーを守りましょう。
- 2 尾瀬は山岳地帯です(鳩待峠は標高1,591m、沼山峠は標高1,700m)。登山靴やザック、雨具など、季節やコースに応じた登山準備をしっかりとって入山しましょう。
- 3 ルートは自分の体力に合わせて選び、時間に余裕を持った計画を立てましょう。また、山小屋に泊まる場合は、15時~16時には到着できるようにしましょう。

奥只見湖の歴史

昔は銀山だった奥只見湖(銀山湖)。歴史を少しご紹介します。

奥只見湖は、奥只見ダムによって出来た人工湖です。昭和36年、尾瀬沼を源流とする只見川の最上流部に建設され、国内で2番目の貯水量を誇ります。

江戸時代、この地は銀山でした。只見川で漁をしていた村人が水中に白く光る銀の鉱石を発見したことから銀山開発が始まり、最盛期の年には1,300kgを産出していました。

当時、銀を運び出すために整備された全長約50kmの街道の一部は、現在では「銀の道」としてトレッキングコースになっています。

過去の歴史にも思いを巡らせながら、新第三紀の地層などダイナミックな景色が楽しめる内陸での船旅を味わってはいかがでしょうか。



船に乗って尾瀬に行こう

本州最大の湿原である尾瀬。

春の雪解けとともに咲くミズバショウ、初夏のニッコウキスゲ、秋の紅葉など美しい尾瀬の自然は多くのハイカー達を魅了しています。

新潟県、群馬県、福島県、栃木県の4県にまたがる尾瀬の入り口はいくつもありますが、船とバスを乗り継いで入るルートは新潟県魚沼市の奥只見から入るこのルートだけ。

長い長いトンネルを抜けると、そこは尾瀬につながる船着場。秘境・奥只見から旅を始めませんか。

尾瀬ガイドと歩く

初めての方や自然解説を聞きながら尾瀬を歩きたいという方は、奥只見郷ネイチャーガイドにガイドを頼んでみては。奥只見湖の景色や歴史の楽しみ方、尾瀬の動植物などを学ぶことができます。

湯之谷温泉郷に泊まる

関越自動車道の小出I.Cを降りて奥只見へ向かう方向に、薬師、湯之谷芋川、折立、大湯、栃尾又、駒の湯、銀山平の7つの温泉が並んでいます。尾瀬への前後泊はもちろん、百名山の平ヶ岳などへの登山や魚沼観光の拠点としてご利用ください。

お問合せは魚沼市観光協会 TEL : 025-792-7300へ
<http://www.iine-uonuma.jp>

新潟県県民生活・環境部環境企画課

〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4番地1

TEL:025-280-5151 FAX:025-280-5166 <http://www.pref.niigata.lg.jp>

写真提供：一般社団法人 魚沼市観光協会



新潟県

魚沼から尾瀬への道

(船・バスは6月～10月中旬頃まで運行、要予約)

JR浦佐駅出発



公共交通機関の玄関口は、JR浦佐駅。JR浦佐駅からバスに乗って、約1時間15分で奥只見ダムに到着します。前後泊に、バスのルート上にある湯之谷温泉郷の宿に泊まって、温泉や地元食材を使った料理を堪能するのもオススメです。

船着場へ向かう奥只見シルバーラインは、元々は奥只見ダムの工事用道路で、全長約22kmのうち約18kmがトンネルです。計19本あるトンネル内は、部分的に手彫りの地肌がそのまま残っていて、歴史を感じることができます。ちなみに、シルバーラインに向かう国道352号の途中には、「はるかな尾瀬」を奏でるメロディーロードがあります。



奥只見船着場



終点でバスを降りたら、船着場へ向かいましょう。船着場へは、坂道を歩いて行けませんが、体力温存にスロープカー（有料）に乗っても。

いよいよ乗船

前方は椅子席ですが、後方はデッキになっていて、風を感じながら平ヶ岳や荒沢岳などの風景を楽しめます。尾瀬口船着場までは、約40分の船旅です。

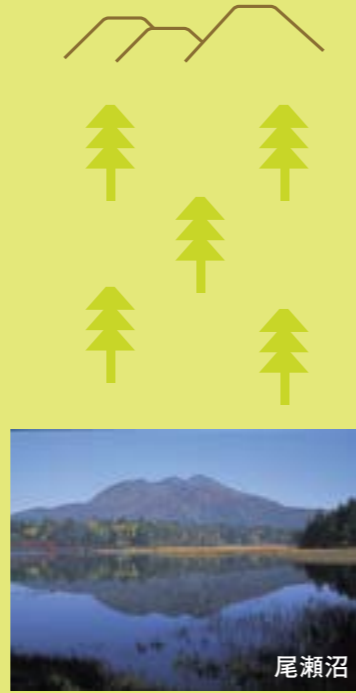


尾瀬口船着場



バスに乗換えて入山口へ

船を降り、少し急な階段を登ってバス停へ。バス（船の時間に合わせて運行）で沼山峠までは約1時間5分です。しだいに標高が上がり、登っていくバスの車窓からは、ブナの原生林や燧ヶ岳などが見え、尾瀬への期待が高まります。



各入山口へ到着。準備を整えて、いざ尾瀬へ!!

(バスは、小沢平、御池、沼山峠の各入山口に停車します。)



沼山峠
モデルコース

1 尾瀬沼散策

【目安タイム*:2時間30分(尾瀬沼の散策時間除く)】 日帰り～

短時間で尾瀬沼を楽しめるコース。尾瀬沼ビジターセンターから尾瀬沼を1周すると目安タイムからさらに約2時間30分かかるので、時間と体力に応じて散策時間の調整を。

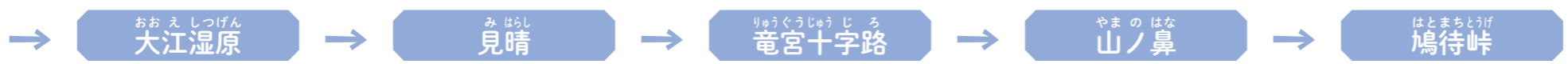
*コースタイムは休憩時間を含めない歩行時間です。



2 尾瀬沼～見晴～鳩待峠

【目安タイム*:7時間40分】 1泊2日～

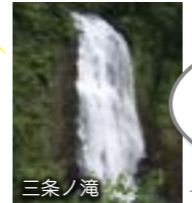
尾瀬を代表する二大見どころスポットの尾瀬沼と尾瀬ヶ原を両方訪れるコース。整備された木道を歩きながら、日本最大の山岳湿地を満喫できます。



3 尾瀬沼～見晴～御池

【目安タイム*:9時間30分】 1泊2日～

尾瀬沼から尾瀬を横断して御池へ出るコース(小沢平に出ることもできます)。2つの滝や燧裏林道の紅葉は見応えがあります。勾配の厳しい箇所もあるため、体力に自信のある人向け。



滝の近くには展望台があって、迫力を感じられます。



お帰りは

沼山峠や御池、小沢平からは、バスと船で魚沼へ戻ることができます。また、各下山口からはJR等へ接続するバス等も出ています。

山小屋に泊まる

山小屋に泊まれば、満点の星空や徐々に夜が明けてゆく幻想的な雰囲気を見ることができます。